

事業番号	事務事業名	手をつなぐ育成会補助金	所管課名	学校教育課	令和 2 年度課長名	金平 美和子
05580	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	井上 陽悦
	施策名	15	障害者(児)福祉の推進	根拠法令等	鏡野町補助金等交付規則 鏡野町手をつなぐ育成会会則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (      年度～      年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・(社)岡山県手をつなぐ育成会に入会し、会の運営及び会員(100名)の研修活動費、特別支援学級(11学級)を助成する。 ・障害を持つ者の育成と特別支援教育の啓発を行なう。	鏡野町の障害をもつ者の自立支援と特別支援教育についての啓発や発展に努めることを目的とする。 平成17年12月9日より実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 特別支援学級	→ ア 特別支援学級数	学級	見込 実績	11 11	11 11	11 11	11 11	11 11
イ	→ イ 特別支援学級の児童、生徒数	人	見込 実績	45 45	45 53	55 56	55 55	55 55
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 障害のある児童、生徒に自立してもらう	→ ア 自立している障害のある児童・生徒数	人	目標 実績 達成率	45 45 100.0%	45 53 117.8%	55 56 101.8%	55 55	55 101.8%
イ 特別支援教育について啓発する	→ イ 啓発している学校数	校	目標 実績 達成率	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6 6	6 100.0%
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 総会、研修会、講演会等の開催	→ ア 開催回数	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 2 66.7%	3 0 0.0%	3 3	3 0.0%
イ 補助金の支払い	→ イ 補助金支払い回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1	1 100.0%
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	01	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号										
	一般会計		教育費		教育総務費		事務局費		03	01	手をつなぐ育成会補助金				05580										
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比												
国庫支出金							国庫支出金																		
県支出金							県支出金																		
町債							町債																		
その他特財							その他特財																		
一般財源	400	400	400	400	400		一般財源	400	400	400	400	400													
合計	400	400	400	400	400		合計(A)	400	400	400	400	400	0												
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1													
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20													
							人件費計(千円)(B)	68	70	67	67	67	-3												
最終予算額		400千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		468	470	467	467	467	-3										
主な支出事業内容(予算)	手をつなぐ育成会への補助金						400千円						主な支出事業内容(決算)	手をつなぐ育成会への補助金						400千円					

事業番号	05580	事務事業名	手をつなぐ育成会補助金	所管課名	学校教育課
------	-------	-------	-------------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特別支援学級の生徒児童数は増加している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
鏡野町教育委員会の方針として、できるだけ特別支援教育に力を注いでいく。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
特に、要望として鏡野町としてできるだけ、単町費を組んででも力を入れていただきたいとの要望が多数ある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	特別な支援を要する児童生徒の自立支援と特別支援教育についての啓発は、障害者(児)福祉の推進の政策体系に結びついている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	特別支援教育に関することを町が行うことは妥当である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である			
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	対象者は妥当である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 説明	成果は目標水準に達している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している		
⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)			
<input type="checkbox"/> 影響がない	理由 説明	廃止することで特別支援教育に大きな影響が出てくる。廃止することはできない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある			
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある	理由 説明	方法・手段は適正である。	
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない			
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	事業費は必要最小限であり、削減の余地はない。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 説明	人件費は必要最小限であり、削減の余地はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 説明	受益者は事業の対象者である特別支援学級の児童生徒であり、適正である。
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	今後の改革改善案		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
						コスト																			
				削減	維持	増加																			
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善																									
<input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了																									
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)